令和４年度　特別の教育課程（立川市民科）の実施状況等について

１．学校名　　　　　　　　　立川市立南砂小学校

２．令和４年度　学校における自己評価（箇条書きでご記入ください。）

|  |  |
| --- | --- |
| 立川市民科の取組の効果 | ・導入時に現地に足を運び、疑問に思ったことを分類・整理する中で、児童一人一人の興味・関心に応じた学習課題をもたせることができた。  ・相手意識と目的意識を児童にもたせることで、学習のまとめの見通しをもつことができた。 |
| 立川市民科の取組の課題 | ・児童一人一人の興味・関心に応じた学習課題をもたせる際には、その学習課題の解決の見通しやその方法をある程度もたせる必要がある。  ・自ら探究する課題設定をして主体的に学習を進めていくためには、ゲストティーチャーの招聘や児童の実態に応じた資料の提示など、「課題設定の段階」をより一層充実させることが重要であることが分かった。 |

３．令和４年度　学校評価に係る共通項目のうち

①対象：児童・生徒

項目：⑫立川市民科では、自分で立てた課題について、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現することができた。

（割合）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| そう思う | 概ねそう思う | あまりそう思わない | 思わない | わからない |
| 47.7％ | 32.7％ | 7.5% | 4.9％ | 7.1％ |

②対象：保護者

項目：⑪立川市民科では、探究的な学びの実現に向けて組織的に取り組んでいる。

（割合）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| そう思う | 概ねそう思う | あまりそう思わない | 思わない | わからない |
| 33.2％ | 40.3％ | 2.8% | 0.4％ | 23.3％ |